

## 第3学年 英語科 学習指導案

日 時 令和元年10月1日(火) 5校時

学 級 3年A組(23名)

場 所 3年A組教室

授業者 教諭 蛸島 佳代

### 1 単元名

PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You?  
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、本当に意味のある国際協力を目指し、世界中で医者や写真家として活動している山本敏晴さんが行っているボランティア活動について学ぶ。特に、山本さんが取り組んでいる「お絵描きイベント」を通し、自国に夢や希望を持って生きる発展途上国の子どもたちの描いた絵から力強いメッセージを感じることができる。この題材を通して、発展途上国の抱えている現実とそこに生きる子どもたちの思い、私たちにできることは何かを考えさせていく。また、言語材料としては、主格の関係代名詞 **who・which・that** の用法を学習する。**PROGRAM6** で現在分詞と過去分詞の後置修飾を学んでいる。本単元では、さらに3つの関係代名詞(主格)を用いて、人やもの、事がらなどについて説明する力を身につけさせたい。

小学校外国語活動(Unit 3 人物紹介 6年・Unit 5 できること 5年)での他者紹介での既習内容を振り返りながら、新しい表現を学習させる。

#### (2) 生徒観

指示されたことに集中して取り組むが、積極的に発言することに関しては課題がある。ペアやグループでの活動に意欲的であり、パフォーマンス活動にも協力して取り組んでいる。ただし、個別指導が必要な生徒がいるので、グループ作りの際や活動内容に配慮している。

さらに、今年度の全国学力・学習状況調査の結果を見ると、「読むこと」の数値が低い状況である。特に、「日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ることができる」が県比-5.9%であった。

この単元では、主格の関係代名詞を使って表現することを目標としているが、併せて後置修飾を含めた文章の読み取りの指導にも力を入れていきたい。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

正答率(%)	本 校	岩手県	全 国
全 体	52.0	52.0	56.0
聞くこと	66.4	65.8	67.9
話すこと	39.0		30.8
読むこと	49.6	53.0	55.6
書くこと	40.6	38.0	45.8

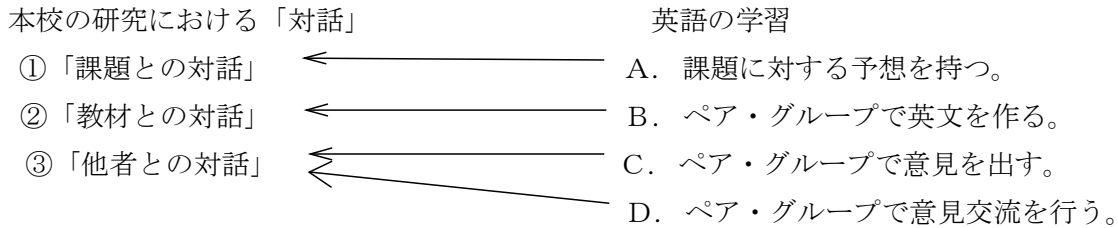
#### (3) 指導観

新しい言語材料である主格の関係代名詞 **who・which・that** を使い、人や物を紹介する力を育てる。小学校の外国語活動や中学校での複数の既習文型を、一文で説明することができることに気づかせたい。本単元では、西南中学校の先生について、クイズ形式で紹介するなど、相手に伝わる表現ができることを目標としている。

また、授業の中に言語活動を意識して取り入れ、後置修飾を使って話すことに慣れさせていきたい。そして、まとめとして「書くこと」にも取り組む。

### 3 本校の研究との関連

共に学び、共に育ち合う子供の育成 ～対話を重視した授業づくりを通して～



外国語科における「対話的な学び」の過程においては、他者を尊重した対話的な学びの中で、社会や世界との関わりを通じて情報や考えなどを伝え合う、言語活動の改善・充実を図ることが重要とされている。このため、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、他者を尊重しながら対話ができるような言語場面を設定していく。

本校では、「対話」を他者とのものだけでなく、学習課題や教材と向き合うことも「対話」としてとらえ、その対話場面を学習過程に取り入れることにしている。

### 4 単元の指導計画

#### (1) 単元の目標

①主格の関係代名詞 who, which, that の用法を理解し、それを使って表現できるようにする。

【外国語表現の能力】

②山本敏晴さんの国際協力の活動を通し、世界の国々の違いに気づかせ、自分にとって一番大切なことについて、深く考えている。【言語や文化についての知識・理解】

#### (2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 (ア)	外国語表現の能力 (イ)	外国語理解の能力 (ウ)	言語や文化についての 知識・理解 (エ)
①与えられた情報から内容を要約しようとしている。 ②グループ活動において自分の役割を果たそうとしている。	①文型を用いて、人やものについて英文をつくり相手に伝えることができる。また、質問に答えることができる。 ②大切なこと(もの)について正しく書くことができる。	①本文の内容を正しく読むとることができる。	①英語やその運用についての知識を身に付けている。

#### 4 課題解決的な単元構想

単元名 PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You? (全7時間)

〈単元を通して身に付けさせたい力〉

- ・主格の関係代名詞 who, which, that の用法を理解し、それを使って表現できるようにさせる。
- ・山本敏晴さんの国際協力の活動を通し、世界の国々の違いに気づかせ、自分にとって一番大切なことについて、深く考えさせる。

#### 7 スピーチ発表 (7/7)

自分にとって一番大切なことを伝えよう。

- ・What Is the Most Important Thing to You? をテーマに、全員がスピーチ発表する。
- ・発表者以外は、評価表に記入する。(「評価」と「聞いてわかった内容」)

#### 6 PROGRAM 7 part 3 (6/7)

山本さんの「お絵描きイベント」のねらいを読み取り、世界の国々の違いに関心を持とう。

- ・本文を聞き、内容に関する質問に答える。
- ・自分にとって一番大切なことについて、理由も入れて英文を作る。

#### 5 PROGRAM 7 part 3 (5/7)

人や物について詳しく説明する言い方ができるようにしよう。

- ・主格の関係代名詞 that を使って人や物について説明する文を作り、グループ内で発表する。
- ・主格の関係代名詞 3 つに関して、「英語のしくみ」の問題を解く。

#### 4 PROGRAM 7 part 2 (4/7)

グループで協力し、本文の内容を要約しよう。

- ・本文を聞き、内容に関する質問に答える。また、グループで本文の内容を要約する。
- ・自分にとって一番大切なことについて、理由も入れて考える。

#### 3 PROGRAM 7 part 2 (3/7)

学校や家にある物について、クイズを作ろう。

- ・主格の関係代名詞 which を使って、物について説明する文を作る。
- ・クイズタイムを通して、他の生徒とやりとりをする。

#### 2 PROGRAM 7 part 1 (2/7)

山本さんが国際貢献するきっかけとなったことを読み取ろう。

- ・本文を通して、関係代名詞 who の文構造を理解する。さらに、内容に関する質問に答える。

#### 1 PROGRAM 7 part 1 (本時 1/7)

西南中学校の先生について、クイズを作ろう。

- ・主格の関係代名詞 who を使い、西南中学校の先生を紹介する文を作る。
- ・クイズタイムを通して、他の生徒とやりとりをする。

【これまでに学習した関連単元】 My Project 2 人を紹介しよう(2年)  
【小学校との関連】 Unit3 人物紹介(6年) Unit5 できること(5年)

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

主格の関係代名詞 who を使って、人について詳しく説明する言い方ができる。(外国語表現の能力)

### (2) 本時の指導観

西南中学校の先生を簡潔に紹介するために、主格の関係代名詞 who を用いる。課題追求のために、教材との対話(様々な英文)、他者との対話(ペア・グループでのクイズ出題など)を行う。自分のグループだけではなく、他のグループとも交流することで、言語活動を充実させたい。それによって、構文の理解を深め、使用できるようにする。

### (3) 展開案

段階	学習内容	学習活動	*指導上の留意点 <>対話 <input type="checkbox"/> 評価
導入 10分	1 Greeting	・元気よくあいさつをする。	* 現在分詞と過去分詞の後置修飾について振り返らせる。 CD PC  <課題との対話> * モデルクイズを聞いて、課題について理解を深める。
	2 Warm up	・ PROGRAM6①, ②の Basic Dialog (基本文)の聞き取りテストを行う。	
	3 Introduction of Target Sentence	・ 教師の英語を聞き、主格の関係代名詞 who の使い方を確認する。 (モデルクイズの提示)	
	4 Today's Goal	西南中学校の先生について、クイズを作ろう。	
展開 32分	5 Oral Practice	This is a teacher who likes math. Who is this?	紙板書 <教材との対話> * 自分の力で考える。 クイズを作るために、ヒントカードを使用する。 カード <他者との対話> * グループ内で交流する。(基本文をたくさん話し、聞く活動) <他者との対話> * 他グループと交流し基本文への理解を深める。 ワークシート  主格の関係代名詞 who を使って、詳しく説明する言い方ができたか。イ①
	6 Speaking Activity	・ 1人1枚カードをもらい、カードに書いてある西南中学校の先生1人について、who を使って説明する。(ペアワーク)	
	7 Presentation in each group	・ 各グループ内で、西南中学校の先生についてのクイズを出し合う。 A: This is a teacher who doesn't like eggs. B: Is this Ms. Ito? A: Yes. That's right. ・ 他グループと交流し、クイズを出し合う。 ・ 数名が、全体の前でクイズを出す。	
	8 Understanding	・ 基本構文のしくみについて確認をする。 ・ 基本構文の英文を書く。	
終末 8分	9 Looking Back	・ 自己評価とグループ評価をする。 ・ 本時の授業を振り返り、主格の関係代名詞 who を使って説明することができたか振り返らせる。	* 自分の言葉でまとめさせる。
	10 Consolidation	・ 次時の確認をする。基本構文のワークシートを課題とする。	* 物についての説明に触れる。
	11 Greeting	・ 元気よくあいさつをする。	

(4) 板書計画

学習課題

西南中学校の先生について、  
クイズを作ろう。

まとめ

This is a teacher who plays the  
人 (名詞) 動詞  
guitar well.  
(こちらは、ギターを上手に弾く先生です。)

振り返り